

地下水ブックガイド

41. 「育水のすすめ」地下水の利用と保全

西垣誠・瀬古一郎・中村裕昭編著

GUP I 共生型地下水技術活用研究会著

技報堂出版（2013）

B6判？新書判？ p.175

本体価格 1800 円+税 90 円



目次

I 地下水の特徴

- 1 地下水は動く 一涵養域、流動域、流出域
- 2 資源としての地下水・環境要素としての地下水
- 3 水循環を脅かす人の活動
- 4 水循環と調和した人の活動
- 5 地下水の顔 一水質
- 6 身近な所で良質の水を得る

II 育水とは何か

- 7 共生と育水
- 8 水を循環させる
- 9 育水をコンサルティングする

III 地下水は誰のもの

- 10 日本の地下水事情と法制度の変遷
- 11 地下水の所有者
- 12 土壤汚染対策法から考える
- 13 流域の共有資源・共有財産

IV 共有型の地下水利用

- 14 子孫に貴重な地下水を遺すために
- 15 流域規模で考える
- 16 地下水利用と事業による人工涵養
- 17 共生型地下水利用の四つのパターン

V 地下水の診断

- 18 地下水力を把握する
- 19 シミュレーションとモニタリング
- 20 浸透枴整備による地下水涵養予測

VI 育水に必要なもの

- 21 地下水の制御
- 22 地下水人工涵養の技術
- 23 育水技術としての人工涵養

地下水ブックガイド

- 24 浄化の方法
 - 25 森林環境税の視点から
 - VII 環境・防災・エネルギーへの利用
 - 26 名水を使ってまちおこし
 - 27 ヒートアイランドへの対策
 - 28 防災井戸
 - 29 地中熱の利用
-

紹介コメント

量、質ともに危機的な状況にある地下水を守るため、日本各地で名水を保全してきた。しかし、それだけでは十分ではないと考えた著者が「育水」を提唱し、自分が使う地下水は自分の力でつくることを考える仲間を増やしたいため出版した一冊。全体が7つのカテゴリに区分されていることで分かりやすく、科学、工学、法律など多面的に地下水を学ぶことができる。身近な名水は水循環から俯瞰すれば一部であることを気づかせてくれるだけでなく、「水穂の国」日本こそが育水を世界に発信し、資源として良質な水をつくれる国であることに改めて考えさせられる一冊である。